

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年2月4日

上場会社名 大崎電気工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6644

URL https://www.osaki.co.jp

代表者 (役職名) 取締役会長

(氏名) 渡辺 佳英

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営戦略本部長

(氏名) 上野 隆一

(TEL) 03-3443-7171

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	66,200	20.6	3,313	23.6	3,225	14.5	1,479	53.2
2019年3月期第3四半期	54,877	△3.3	2,681	△34.1	2,817	△32.6	966	△48.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,680百万円(0.6%) 2019年3月期第3四半期 1,669百万円(△43.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	30.24	29.76
2019年3月期第3四半期	19.76	19.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	96,509	59,182	49.4
2019年3月期	98,314	58,881	48.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 47,673百万円 2019年3月期 47,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	88,000	7.2	3,200	△25.6	3,200	△25.5	1,000	△44.6
								20.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	49,267,180株	2019年3月期	49,267,180株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	346,126株	2019年3月期	346,095株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	48,921,075株	2019年3月期3Q	48,882,806株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信 (添付資料) 3ページの「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資等の内需に支えられて緩やかな回復が続いているものの、米中貿易摩擦の長期化への懸念などから、先行きに対する慎重な見方が広がっています。

このような状況の中、当社グループは2020-2024年3月期の中期経営計画を策定し、重点戦略である「利益を重視したグローバル成長」、「スマートメーターの付加価値創出」、「新たなコアとなる製品・事業の創出」、「グループ経営基盤の強化」に取り組んでいます。

当第3四半期について、国内においては、2024年度までに全世界へのスマートメーター導入が完了する計画が進行している中、主力製品であるスマートメーターへの取り替え需要がピークを過ぎたことに加え、価格低下の影響もあり、減収となりました。

一方、海外においては、スマートメーターの設置が進むオーストラリアで売上が順調に増加しました。加えて、英国では通信ハブ、スマートメーターの出荷が増加し、新興国ではイラク・クルド自治政府、カンボジア向けのスマートメーター案件も大きく寄与したことなどから、大幅な増収となりました。

これらの結果、売上高は前年同期比20.6%増の66,200百万円となりました。

利益面については、海外での増収と販管費率低下等により増益となったことから、営業利益は前年同期比23.6%増の3,313百万円となりました。経常利益は前年同期比14.5%増の3,225百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比53.2%増の1,479百万円となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	54,877	66,200	11,323	+20.6%
計測制御機器事業	53,456	64,796	11,340	+21.2%
その他	1,527	1,538	11	+0.7%
調整額	△106	△135	△28	—
営業利益	2,681	3,313	632	+23.6%
計測制御機器事業	2,445	3,132	687	+28.1%
その他	231	177	△53	△23.1%
調整額	4	3	△1	△28.6%
経常利益	2,817	3,225	407	+14.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	966	1,479	513	+53.2%

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、たな卸資産が3,306百万円、有形固定資産のその他(純額)が986百万円増加しましたが、現金及び預金が5,360百万円、預け金が818百万円減少したこと等により、前年度末と比較して1,804百万円減少し、96,509百万円となりました。

負債は、長・短借入金が572百万円、流動負債のその他が972百万円、固定負債のその他が990百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金・電子記録債務が3,678百万円、未払法人税等が472百万円、賞与引当金が588百万円減少したこと等により、前年度末と比較して2,105百万円減少し、37,327百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が75百万円、為替換算調整勘定が327百万円減少しましたが、利益剰余金が431百万円、非支配株主持分が252百万円増加したこと等により、前年度末と比較して300百万円増加し、59,182百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、国内においては、スマートメーターの需要減等に伴い減収傾向にあるものの、コスト抑制効果により利益は概ね計画線で推移しています。一方、海外においては、売上高は概ね計画線で推移しているものの、英国のスマートメーター仕様の変更に伴い不用となった部材の評価損を期末に計上すること、英国を中心に顧客への納期を優先するため工場から販売子会社への空輸費用が増加することなどから、利益は年初計画を下回る見込みです。これらの要因により、2019年5月14日公表の業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,892	8,531
預け金	2,601	1,783
受取手形及び売掛金	19,836	19,515
商品及び製品	6,484	8,598
仕掛品	3,766	3,591
原材料及び貯蔵品	9,436	10,803
その他	2,510	2,635
貸倒引当金	△605	△521
流動資産合計	57,923	54,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,566	9,262
土地	12,503	12,503
その他（純額）	6,053	7,040
有形固定資産合計	28,124	28,806
無形固定資産		
のれん	615	449
その他	1,115	1,010
無形固定資産合計	1,730	1,459
投資その他の資産		
投資有価証券	5,735	5,609
退職給付に係る資産	1,054	1,035
その他	3,748	4,661
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	10,535	11,304
固定資産合計	40,391	41,570
資産合計	98,314	96,509

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,468	7,604
電子記録債務	4,038	3,225
短期借入金	10,703	4,821
未払法人税等	841	369
賞与引当金	1,733	1,145
役員賞与引当金	0	10
製品保証引当金	46	46
その他	5,426	6,399
流動負債合計	33,260	23,621
固定負債		
長期借入金	36	6,491
役員退職慰労引当金	108	32
退職給付に係る負債	2,254	2,300
繰延税金負債	2,265	2,382
その他	1,508	2,498
固定負債合計	6,172	13,705
負債合計	39,432	37,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,965	7,965
資本剰余金	8,750	8,750
利益剰余金	27,669	28,101
自己株式	△223	△223
株主資本合計	44,162	44,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,412	1,337
為替換算調整勘定	1,763	1,436
退職給付に係る調整累計額	356	306
その他の包括利益累計額合計	3,532	3,079
新株予約権	474	544
非支配株主持分	10,710	10,963
純資産合計	58,881	59,182
負債純資産合計	98,314	96,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	54,877	66,200
売上原価	40,409	51,016
売上総利益	14,467	15,183
販売費及び一般管理費	11,786	11,869
営業利益	2,681	3,313
営業外収益		
受取利息	17	18
受取配当金	145	157
その他	182	151
営業外収益合計	344	327
営業外費用		
支払利息	69	390
為替差損	89	—
その他	48	25
営業外費用合計	208	416
経常利益	2,817	3,225
特別利益		
子会社清算益	68	—
特別利益合計	68	—
特別損失		
災害による損失	53	—
特別損失合計	53	—
税金等調整前四半期純利益	2,832	3,225
法人税、住民税及び事業税	953	849
法人税等調整額	287	242
法人税等合計	1,241	1,091
四半期純利益	1,591	2,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	625	654
親会社株主に帰属する四半期純利益	966	1,479

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,591	2,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△321	△75
為替換算調整勘定	423	△327
退職給付に係る調整額	△23	△50
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	78	△453
四半期包括利益	1,669	1,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,044	1,025
非支配株主に係る四半期包括利益	625	654

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他(純額)」が1,125百万円増加し、流動負債の「その他」が182百万円、固定負債の「その他」が1,025百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は69百万円減少しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測制御 機器事業				
売上高					
外部顧客への売上高	53,436	1,440	54,877	—	54,877
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	86	106	△106	—
計	53,456	1,527	54,983	△106	54,877
セグメント利益(営業利益)	2,445	231	2,676	4	2,681

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、FPD関連装置事業、不動産事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、固定資産の調整額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測制御 機器事業				
売上高					
外部顧客への売上高	64,778	1,421	66,200	—	66,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	116	135	△135	—
計	64,796	1,538	66,335	△135	66,200
セグメント利益(営業利益)	3,132	177	3,310	3	3,313

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、FPD関連装置事業、不動産事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、固定資産の調整額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。